

2017年1月号

特集：量子光工学

本誌では“回顧と展望”を意識し、新年号の特集としてきた。

今回は近年もっとも急速に広まった基本構想の一つに、“Industry (ドイツ語表記でのIndustrie) 4.0”という概念がある。

これは、あらゆるものがインターネットでつながるという“IoT”の考え方を具現化するものであり、産業システムのデジタル化とデータ化によって得られるビッグデータの活用により「第4次産業革命」をもたらすことが期待されている。このような背景を踏まえて、光応用技術、画像関連技術、オプトエレクトロニクスなどに関して、過去と現状をあらためて振り返り、問題点を検討してさらには今後を見ることをこととしたい。産業応用を背景としているので、基礎的な内容よりは、「技術をどう使うか」、そのためには「どのような問題があるか」という立場から、体型化にはこだわらずに執筆いただく方がそれぞれの視点からご意見を述べていただくこととする。

No.	タイトル	執筆者
1	特集のポイント	OplusE編集部
2	光ファイバ/通信	
3	光メモリ	東海大学
4	ホログラフィ	東工大
5	CT技術	ニコン
6	レーザ技術	東京大学
7	半導体産業にみるO plus E技術	キヤノン
8	中小企業への期待	武蔵野銀行
9	センシング技術への期待	住友重機械工業
10	標準化規格化	東京工芸大
11	産業界における4.0構想の連合, 連帯	スタンフォード大
12	人工現実(VR)の現実と期待	シリコンスタジオ
13	宇宙科学と宇宙産業	
14	光学教育問題	東海大学
15	光学書籍 初等書籍, 過去の例, 現状	FOV

※特集予定は都合により変更になる場合があります。詳細は営業担当にお尋ねください。